

大腸切除術を受けらる方へ 患者氏名() 手術日 月 日 主治医() 担当看護師()

	準備	2日前(月 日)	1日前(月 日)	当日(月 日)		1日後(月 日)
				術前★	術後	
達成目標	＜持ち物＞ 別紙「持ち物について」 をご参照下さい ＜禁煙について＞ 肺合併症を起こす原因になる ので、手術前は禁煙して頂くよう お願い致します ＜その他＞ ①手術の時間は入院後お伝え します。 ②入院後主治医からの説明の 際、ご家族の同席をお願い する事があります。 	手術の必要性を理解し、手 術準備ができる		精神的、身体的に安定した状態で手術に望むこ とができる	①全身状態が安定している ②出血がない ③創痛のコントロールができる	①全身状態が安定している ②創痛がコントロールできる ③歩行が出来る ④水分摂取が出来る
薬剤		昼に下剤を内服します。	昼に下剤を内服します。			鎮痛剤の内服が開始になります。
注射				手術前に点滴を始めることがあります。	→	→
処置		平日は9時～ 休日は9時半 ～回診がありますので検査 以外は病室でお待ち下さい。	お臍の処置を行います。	当日朝までの排便が不十分のときは看護師に伝 えて下さい。	酸素マスク、心電図モニター、自動血 圧計をつけます。	9時から廻診があります。
検査			適宜検査をおこないます。			適宜検査をおこないます。
安静度		安静度の制限はありません。			ベッド上安静となります。	手術後の第一歩行は看護師と共に歩 行します。その後も状態が安定してい れば歩行は可能です。
食事/水分			夕食後から絶食です 夕食後から翌日朝6時までにOS-1 を飲んでください。 OS-1は吸収がよいとされているた め、しっかり飲むようにしてくださ (水・茶も飲めますがOS-1を優先 して飲んでください)	食事:絶食です。 水分:朝6時以降は絶飲です。	絶飲食です。	水分(水・お茶)500ml/日まで可能で す。
留置物					尿管・お腹に管が入っています。背中 から痛み止めの管が入っています。	尿道カテーテルは歩行可能であれば 抜去されます。
看護			シャワー浴をしましょう。			体を蒸しタオルで拭きます。
観察			手術に備え、血圧など全身の状態 を観察します。	血圧など全身状態の観察をします。	麻酔の覚醒状態を観察します。血圧な ど全身状態や、創の状態を観察しま す。	血圧など全身状態、創の状態の チェックを続けます。 ドレーン(管)の排液の性状を確認しま す。
教育・説明		病棟オリエンテーションを行 います。手術に必要な物品 の説明と確認を行います。 手術承諾書を提出してくださ い。持参薬がある場合、看護 師へ提出してください。薬剤 師が確認をさせていただきます。	麻酔科医師より術前の説明があり ます。 主治医より手術について説明があり ます。 手術室、ICUの看護師の訪問があり ます。	手術前に排尿を済ませて下さい。眼鏡・時計・指 輪・義歯・コンタクトは外してください。手術室まで はパジャマのまま歩いて出棟します。	痛みのあるときや、眠れないときはお 知らせください。 術後は痰を飲み込まないようにし、痰 を出すようにしましょう。また深呼吸を しましょう。 手術後ご家族へは主治医より手術の 説明があります。	歩行は腸の動きを促進します。痛み が強くなければ積極的に歩行するよう に心がけましょう。

※患者様の状態によって変更する場合がありますのでご了承ください。尚、ご不明な点がございましたら看護師までお尋ねください。
※入れ歯、ジェルネイル、カツラ、アクセサリー、コンタクトは手術当日,処置等で必要な際は取り外しをお願いします。また入院中のお化粧もご遠慮下さい

2日後(月 日)	3日後(月 日)	4日～6日後(月 日～ 月 日)	7日後(月 日)	8日後～13日後(月 日～ 月 日)	14日後～(月 日)
痛みが緩和し、離床が行える	食事が開始でき、症状なく摂取できる	問題なくドレーン(管)が抜去できる。	縫合不全がなく、排便のコントロールができる		退院後の注意点が理解でき、不安なく退院を迎えることができる
9時から廻診があります。→	→	→	廻診時、傷を止めているホッチキスを取ります。	廻診があります。→	→
制限はありません。					
水分制限はありません。	治療食が始まります。				
		ドレーン(管)の排液が問題なければ抜去されます。			
体の管が抜けるまで体拭きや洗髪を行います。		管が抜ければシャワーができます。			
	食事開始により、腹痛や吐き気が出現しないか注意して観察します。	ドレーン(管)が抜ければ、抜去部にガーゼを当てます。排液が止まれば防水テープを貼ります。	食事開始後、排便があるかどうか観察しましょう。必要時下剤の内服をしていただきます。		
	食事開始の際は、無理せずに食べるように心がけましょう。				退院時次回の外来受診日を説明します。退院後の生活について、退院後は規則的な排便習慣を心がけましょう。腹痛・嘔吐・お腹がはる・排ガスが出ないなどの症状があればすぐに受診しましょう。

